

まきは

「一つの泉」

「その日、ダビデの家とエルサレムの住民のために、罪と汚れを清める一つの泉が開かれる。」

(ゼカリヤ書 第13章1節・旧約聖書1470頁)

はじめに

預言者ゼカリヤは神殿再建を促す言葉を語りました。何よりもそれは神の民たちが失いかけていた信仰の再建、回復のためでもあり、ゼカリヤは「若枝」、つまり王であり主である方、神の前に執り成しをする大祭司、言葉そのものである方でもある救い主の到来を告げ、その方を受け入れる備えを説きました。今日の箇所はさらに具体的な記述がなされています。

刺し貫いた者

この箇所を知るためには、12章10節からの内容を確認する必要があります。ここには様々な人の「嘆く」姿が記されています。その原因は「自分たちが刺し貫いた者」にあります。刺し貫かれた者とは、それまでに神の救いを説き、神に従うように、また神に立ち帰るように説いてきた預言者たち、それは神の御旨であったわけですが、それを無視し、自分たちの手で抹殺したことを後悔し、嘆いているのです。

私たちには常に神からの救いへの招きが語られています。ところがそれを無視してきた。だから私たちは飢え、渇き、平安を失うのです。

一つの泉

それまで神を無視し、神に従っていなかった態度に気付いて嘆き、悔い改めるならば、「その日、一つの泉が開かれる」のです。「ダビデの家とエルサレムの住民」とは、嘆き、悔い改めた者たちを指しています。

泉は水が絶えず流れることから、浄化するものとして考えられ、象徴として用いられてきま

した。それは日本も含め、世界に共通しているように思いますが、今までの背信の罪、神を無視しておこなってきた汚れた行為(偶像礼拝)が清められ、神の救いがもたらされるのです。

イエスの十字架と救い

この預言が言葉だけであったなら、滝に打たれたり、神社の手水でもいいと思われるでしょう。しかし、そんなもので人の罪は清められません。その罪を根こそぎ取り除かれなければ、罪から救われることはありません。私たちには嘆くほどの罪の自覚があるでしょうか。

私たちの嘆きを受けてくださったのが主イエスです。私たちの背信や不従順、それが原因で行ってきた罪汚れをすべて身に受け、死んでくださった。まさにそれは私たちが刺し貫いたことにほかならず、その事実を知って、嘆く者とされ、十字架のもとにひれ伏し、悔い改めることで、罪と汚れを清める泉が開かれるのです。

ヨハネはイエスが槍で刺し貫かれたのを見、このゼカリヤ書の預言が成就したと記しています(ヨハネ19:37)。ペトロがペンテコステにおいてその十字架を語った時、人々は「心を打たれた」(使徒2:37)とあります。この語は「心を刺し貫かれた」との意味で、十字架が自分の罪であったと理解したことを表しています。人々は悔い改めに導かれ、主から流れ出る泉によって清められ、救われました。私たちも、そうありたいと思います。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「その日、ダビデの家とエルサレムの住民のために、罪と汚れを清める一つの泉が開かれる。」(ゼカリヤ書 13:1)

「兵士の一人が槍でイエスの脇腹を刺した。すると、すぐ血と水とが流れ出た。それを目撃した者が証しており、その証しは真実である。その者は、あなたがたにも信じさせるために、自分が真実を語っていることを知っている。これらのことが起こったのは、…聖書の言葉が実現するためであった。…聖書の別の箇所にも、『彼らは、自分たちの突き刺した者を見る』とも書いてある。」



(ヨハネによる福音書 19:34 ~ 37)

「私が与える水を飲む者は決して渇かない。私が与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出る。」(ヨハネによる福音書 4:14)

私が平安を失っていたのは、あなたの御心に従わず、自分の都合を優先していたからです。その罪を悔い改めます。そして十字架を見上げます。主は私のために刺し貫かれたのです。どうぞお赦してください。

そしてその十字架から流れる泉によって、わたしをきよめ、満たしてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (75) 第4章3節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「私も父の子であり 母にとっては、いとしい独り子であった。」

◎口語訳 「わたしもわが父には子であり、わが母の目には、ひとりのいとし子であった。」

◎新改訳 「私が、私の父には、子であり、私の母にとっては、おとなしいひとり子であったとき、」

「母の思い」

これまで、「父」が子に対して諭し、教えてきましたので、ここで「母」が登場してきたことで、今まで厳しく、殺風景だったイメージが、いっきに家庭の温かさを思い起こさせるような情景へと変わります。一家が食卓を囲み、父親の語るのを聞いている。あくびをしたり、ほおづえをついていたり、一番ちびはお母さんの膝の上にちょこんと座り、うとうととしている。おそらく、そうだったと思います。

なぜ母が登場しないのか。子に対して神の教えを伝え、信仰を継承させるのは、父親の役割だったからです。ただ、その父親を補佐する母の役割もまた必要不可欠でした。

ここで「母にとっては、いとしい独り子」とあるので「一人っ子だったのか」と受け取られるかもしれませんが、口語訳では「ひとりのいとし子」とあり、「きょうだいがいる中のひとり」

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

として、自分も愛されてきたということがわかる訳になっています。

おもしろいのは新改訳が「おとなしいひとり子」と訳していることです。あとは騒がしいガキだったのかとってしまうような訳ですが、ここで使われているヘブライ語は「愛らしい」だけではなく、「経験不足」との意味があり、弱く、助けてあげたいといった感情がその根底にあります。おとなしいとは「なにもできない乳幼児」を念頭に置いた訳なのでしょう。生意気なやつは「いとしい」ではなく「にくたらしい」?

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

列王紀上第2章24節「私のために王家を興された主は生きておられる。アドニヤは今日死ななければならない」◆アドニヤはソロモンの母バト・シエバのもとに来て、ソロモンへの服従を誓うとともに、アビシャグを妻にしたいと申し出た。ダビデの晩年に召し出され、世話をしていたアビシャグ(1:3)の立場は「側室」同様であり、アドニヤがそれを求めたのは、いわゆる大奥を手に入れるためだったと考えられる。バト・シエバからその話を聞いたソロモンは、その謀略に感づき、アドニヤを打つことにした。アドニヤは最後までへりくだることをしなかったのだ。

●賛美 / 431 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

列王紀上第3章5節「主は夢の中でソロモンに現れた。『願い事があれば、言いなさい。かなえてあげよう』と神は言われた。」◆この出来事は、ソロモンへの試みだったかもしれない。だれもが「好きなことを求めよ。かなえてあげよう」と言われたら、富や健康を願うものだ。だがこの時のソロモンは、神の知恵を求めることができた。しかもそれは民たちを正しく導くためであった。私たちが第一に求めるべき者がある。「神の国と神の義」である。私たちがそれを求めようではないか。そうすれば、「すべて添えて与えられる」とも約束されている。

●賛美 / 432 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

列王紀上第4章20節「ユダとイスラエルの人々は、海辺の砂のように多く、食べたり飲んだりしながら楽しんでいた」◆ソロモンの知恵によって王国は栄えた。ソロモンは組閣を行って国の中心を担う人事を定め、それぞれの行政担当者を任命した。内政の充実は民たちに幸いをもたらした。私たちに与えられた御言葉は、自分を生かすだけでなく、他の人をも生かす。そしてその知恵は測りがたい。神からの知恵によって私たちは人々を富ませることができ、そしてそれは神への賛美につながっていく。よい証しをしていこう。

●賛美 / 433 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

列王紀上第5章15節「ヒラムは常にダビデと友好関係にあった。」◆ソロモンが大神殿を建てられたのは、ダビデがすべて準備をしていたからだ。「おまえは多くの戦いによって血を流してきたから建てることできない」と言われた時、真実なダビデは、「それでは息子に建てさせるべく、全力を尽くそう」と考え、それを実行したのだ。もし、ティルス王ヒラムと親しい関係でなければ、木材は供給されず、不可能だったろう。私たちも神からの大いなるビジョンをいただき、信仰だけでなく、次世代によいものを残していかなければならない。

●賛美 / 434 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

列王紀上第6章37節「神殿はその設計どおりに完成した。神殿を建てるのに七年かかった。」◆ダビデ以降のユダの王は、その信仰について「ダビデの道」に歩んだかが規準とされ、評価されている。ダビデは失敗もし、家庭ではよい父とはいえない面もあったが、その生涯にわたって真実を尽くして神に従った。子も孫も見習うべき手本であったのだが、ダビデのように歩んだ王は何人もでなかった。「設計どおり」とは、ダビデが設計したとおりにということで、ソロモンが父に敬意をもっていたことがわかる。私たちも聖徒の手本にならいたい。

●賛美 / 435 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

列王紀上第7章1節「またソロモンは、十三年かけて宮殿を建て、その宮殿のすべてを完成させた。」◆豪華な宮殿ができあがった。自分の家、つまり宮殿も必要な施設ではあるので、当然ながら神殿建築の一環として設計がなされ、また建築されたのだが、「ソロモンは」という言葉も多く、ダビデが意図していた規模だったのか疑わしい。ソロモンの生活が派手であったことは記されており、それがまた彼の不信仰の原因ともなっている。私たちはどのように主に仕えているだろうか、またどれだけ主にささげているだろうか。

●賛美 / 436 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

列王紀上第8章30節「この所に向かって献げる願いを聞き入れてください。あなたは住まいである天からそれを聞いてください。聞いて、お赦しください。」◆ソロモンが献堂に際してささげた祈りはすばらしい。どんな立派な神殿であっても、神はその宮にはお住みにはならない。「これがご神体です」とまつられている神などではない。だが、ソロモンは、その所に向かって祈る時、私が信仰告白をしていると受け止めて、祈りに答えてくださいと言っているのだ。私たちもどこでも御名によって祈ろう。神はお聞きくださる。

●賛美 / 437 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやごでせいしよ

●きょうのせいしよ

【サムエルきげ 7：16】

「おうになったダビデ」

(7：16)

サムエルによって あぶらを そそがれていたダビデは サウルおうに つかえたのち、サウルおうに いのちを ねらわれてすごしていましたが、そのサウルが ペリシテじんと のせんそう でしんでしまいます。

ダビデは これからどうすればいいか、かみさまにいのりました。すると「ヘブロンにいきなさい」といわれます。すると、ヘブロンにいた ユダのひとたちは ダビデを ユダの おうとして みとめ、つかえるようになりました。ダビデは ユダのひとびとを おさめる ひととなったのです。

ではエルサレムではどうだったのでしょうか。サウルおうが しんで、そのしょうぐんだった アブネルが サウルのお イシュ・ボシエトをおうにたて、イスラエルを おさめようとしていました。

でも、よくかんがえてみてください。ダビデは かみさまに すべてをきいて、それにしたがっていたのですが、アブネルやイシュ・ボシエトは かみさまにいのることもしていません。ひとの ちからで くにをおさめようとするのは、まちがっています。そのため、ダビデは さかえ、イシュ・ボシエトは どんどんおとろえていきました。

そしてとうとう、アブネルもしに、イシュ・ボシエトも ころされてしまいました。

イスラエルのひとたちは ダビデのいる ヘブロンにきて いいました。「わたしたちの おうになってください」。このしゅんかん、ダビデは ユダも そしてイスラエルをも おさめるおうになったのでした。

かみさまがえらんでいた ダビデは おうさまとして くにをおさめ、てきとのたたかいかちつづけ、かみさまによるこぼれる あゆみをしました。

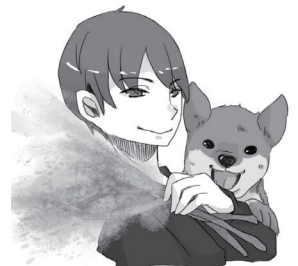
わたしたちも、かみさまに すべてのことを きき、そしてしがたいですね。

●かんがえてみよう

☆さいしよに ダビデを おうとしたのは どのちいきに すんでいたひとたちでしたか(サムエルきげ 2:4)

☆サウルがしんだあと イスラエルでおうとなったのは だれでしたか。(サムエルきげ 2:10)

☆イスラエルのちょうろうたちは だれを おうとしてえらびましたか。(サムエルきげ 5:3)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

せんごをこうちした

ん								どと
		た		ち				
	ど					を	う	
し		ぜ	う	と	ち	ど		を
	ん	と	ぜ		ど	た	し	う
ど			ん	た			ち	ぜ
を	う					と	ぜ	た
と		ど	し	う	た	ん	を	
た	ち			ど	ぜ	う		し

ことばあそび

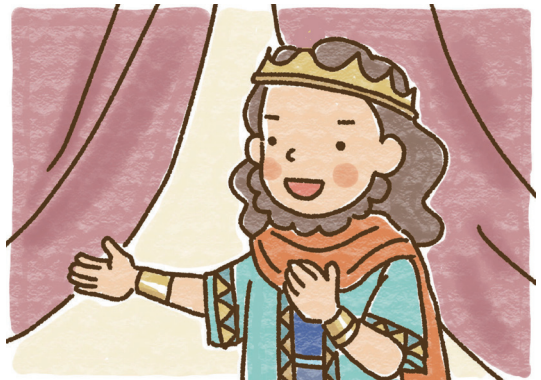
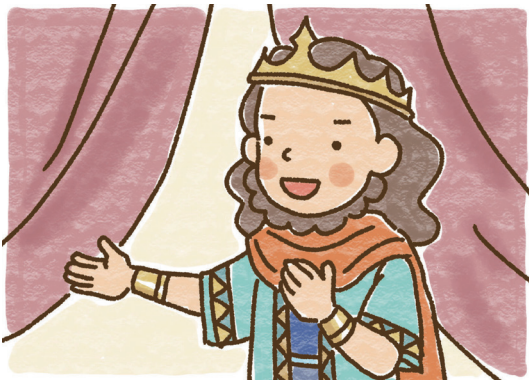
今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

（サムエル記下5章）

- ① あなにくのこたつ
- ② すぶてのぞくべ
- ③ どうししゃ
- ④ したいん

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「順位変動」

男女格差が叫ばれ、年々その開きが少なくなっている今、日本で初めて女性が総理大臣になったなど、「遅きに逸した」ことなのかも知れません。女性に参政権が認められたのは戦後になってからですし、女性の大任が誕生したのはそれから15年後の1960年(昭和35)のことです。その後、組閣のたびに何人かははいますが、女性を入れなきゃうるさいから、というような入閣であったような気がします。

世界に目を転じてみると、王国の継承者や俗に言うシャーマン的な宗教的指導者、卑弥呼もそうですが、そういった人物はいましたが、民主的な政治の時代になって選ばれた最初の女性元首はスリランカのバンダナライケという人で就任は1960年。インドのインディラ・ガンディーは1966年でした。その後、鉄の女と呼ばれたイギリスのマーガレット・サッチャーやご主人の人気で選ばれたフィリピンのコラソン・アキノ、長年ドイツを率いたアンゲラ・メルケル、最近では台湾の蔡英文も優秀な指導者でした。

今回選ばれた高市早苗は安倍晋三のやり方を踏襲するような人らしいですが、右傾化していかないようにと願うばかりです。

聖書ふれあい街歩き

●ティルス

ティルスは現在のレバノン南部に位置しています。地中海の文化を垣間見ると、必ずフェニキア人が登場してくるのですが、BC3000年頃からそのフェニキア人の拠点の一つとなっていました。良港を持つことによる交易がティルスを発展させたのです。

特にレバノン杉は良質の建材としてあらゆる国に輸出されており、木材加工の技術者も多かったようで、ダビデ王の時代には同盟を結んでおり、ソロモンの時代になっても良好な関係は継続しており、神殿建築の際は、ダビデと交わした約束通り、ティルスの王ヒラムはレバノン杉と共に職人をエルサレムに送り、大いにこれを助けてました。

ところがソロモンの時代から次世代に変わると豊かな富を基盤にしてティルスは自立国家となり、イスラエルとの安保条約のようなものも必要なくなります。さらに偶像崇拜に拍車がかかり、お互いに敬遠し始めたからか、記述が見られなくなります。ただ、イゼベルがアハブに嫁ぐ記事で、「シドン人エトバアルの娘」と紹介されています(列王上 16:31)。このシドンがティルスと深く関わっているのです。次回、そのことをお話します。

ななめ聖書 先週のこたえ

も	お	ん	い	を	ち	の	じ	る
じ	る	い	ん	も	の	お	ち	を
の	を	ち	お	じ	る	も	ん	い
ん	も	を	ち	の	お	い	る	じ
い	の	る	を	ん	じ	ち	も	お
お	ち	じ	も	る	い	ん	を	の
る	ん	の	じ	い	も	を	お	ち
ち	じ	も	の	お	を	る	い	ん
を	い	お	る	ち	ん	じ	の	も

- ① おおさまのやり
- ② じぶんのみち
- ③ しょゆうち
- ④ ついせき



エフェソからマケドニアへ

この騒動が収まった後、パウロは弟子たちを呼び集めて励まし、別れを告げてからマケドニア州へと出発した。

そして、この地方を巡り歩き、言葉を尽くして人々を励ました後、ギリシアに来て、そこで三か月間過ごした。

パウロは、シリア州へと船出しようとしていたとき、彼に対するユダヤ人の陰謀が起こったので、マケドニア州を通して帰ることにした。

同行した者は、ピロの子でベレア出身のソパトロ、テサロニケのアリスタルコとセクンド、デルベのガイオ、テモテ、それにアジア州出身のティキコとトロフィモであった。

(使徒言行録20:1~4)



エフェソからの道のり

【マケドニアに】

マケドニアには海路ではなく、陸路を選んだとして(私の支持している説)、まずスミルナやサルデス、ティアティラ、ペルガモンといったヨハネの黙示録に出てくる教会を訪問しながらトロアスに行ったと考えられます。そしてトロアスからマケドニアの港であるネアポリスまでは船に乗り、そしてまずフィリピを訪れたでしょう。信徒に書き送った手紙から、フィリピの教会はパウロに多大なサポートをしていますから、ここは外すことはなかったはず。「フィリピの人たち、あなたがたも知っているとおりに、私が福音の宣教の始めにマケドニアから出かけて行ったとき、会計を共にしてくれた教会は、あなたがたのほかにも一つありませんでした」(フィリピ4:15)からはじまるパウロの受けた支援の様子は心を打つものがあります。だからパウロは「私が、キリスト・イエスの深い憐れみの心で、あなたがた一同をどれほど思っているかは、神が証ししてくださいませ」(フィリピ1:8)と言っているのです。

私も伝道者になって、多くの方から数え切れないほどの励ましを受けて、今までこの働きを続けてくることができました。パウロの気持ちが痛いほど分かります。だからこそ、その方方をいつも思い起こし、祈らせていただいているのです。

当然ながら、パウロはテサロニケにも寄って、それぞれの信徒の集まりで「言葉を尽くして人々を励ました」後、ギリシアに向かいました。第二回目の旅行のコースと同じように、アテネまたはコリントまで一気に移動したかも知れません。

【ギリシアで】

このギリシアでは「三か月」とあるところが

ら、コリントを中心に活動していたのが自然であると考えます。というのも、コリントの信徒への手紙二13章で「私があなたがたのところに行くのは、これで三回目です」と記しているからです。この手紙はエフェソから書かれたとされています。そうすると、この時パウロはコリントに行く決めて、手紙を書いていたこととなります。ということは、マケドニア州に向けていったのは、最終的にはコリント教会に行くのだけれど、せっかくギリシアへ行くのだから、マケドニアにも寄ろう、という意図が見えてきます。

コリントは当時ギリシアでも中心地であり、ローマにも匹敵するような都市でしたから、伝道戦略から見てもパウロが力を入れ、教会の生き死にが以降のキリスト教勢力拡大を左右すると位置づけていたのです。「三か月間」からもその思いを汲み取ることができると思います。

【ユダヤ人の陰謀】

パウロはコリントから献金を携えて(ローマ15:25~26)エルサレムへと向かう予定でした(AD56年頃)。その時期は、過越祭のためエルサレムへ行くユダヤ人巡礼者が多く乗っていたと言われています。そんな時、船内に敵対するユダヤ人が潜み、パウロを殺害する機会を狙っているとの計画があると知らされたのです。だれが襲撃してくるかわかりません。また逃げようもありませんから、狙う方としては絶好の機会。そこで、それを回避すべく、直接シリアに行くのではなく、「マケドニア州を通して帰ることにした」でしょう。

果たして、パウロは陸路で北上し、マケドニア州を経由してトロアスへ向かうのです。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

